



七重小学校 校内研究の取組

～主体的で深い学びを視点とした授業作りの概要～

七重小研究部

本日の発表内容

1. 本校の研究主題について
2. 共通ツール「授業改善シート」について
3. 授業改善のポイント〔研究内容〕
 - ① 授業のモデル化
 - ② 授業のUD化
 - ③ 課題の工夫
 - ④ 各教科の見方・考え方
4. 本校の研究（授業改善）イメージ
5. おわりに



Ⅰ. 研究主題と目指す姿

「わかる」「できる」「つかえる」子どもの育成
～主体的・対話的で深い学びを視点とした授業作り～

学んだ知識・技能を発揮する
喜びを感じられる**子ども**



主体的・対話的で深い学
びを視点とした**授業のU
D化**

対話を基盤としたチームに
よる不断の**授業改善に挑む
教師**



2. 授業改善シートについて

R2 わかる・できる・つかえる授業実践シート

年 組 授業者

教科 単元

授業モデル

【児童が学んだ力を発揮する場】・・・単元における身に付けさせたい力の明確化

イカす

本時の目標

本時略案（簡単な流れ）

課程	簡単な学習内容（アウトプット場面を意識／評価場面）	UD及びALの視
導入 （参加）		
展開 （理解） （習得）	深い学びを生む学習課題	
終末 （活用）	まとめ	

授業改善のポイント

授業改善の「共通ツール」として

シンプルでわかりやすいもの

実践重視（まずやってみる！）

共通理解（いきわたらせる）



3. 授業改善のポイント（研究内容）

研究内容①
授業のUD化

研究内容②
つかえる場の意識化

研究内容③
個人・学年による意識化



3. ①授業のモデル化



一単位時間の授業と
発揮の場との関連を教師が意識！

モデルⅠ



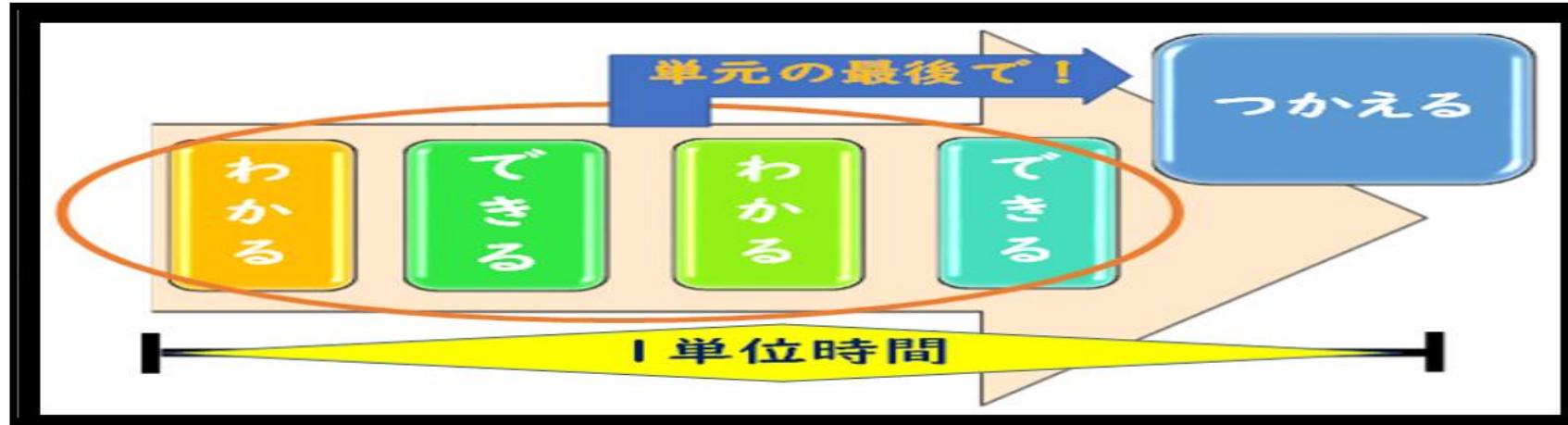
モデルⅡ



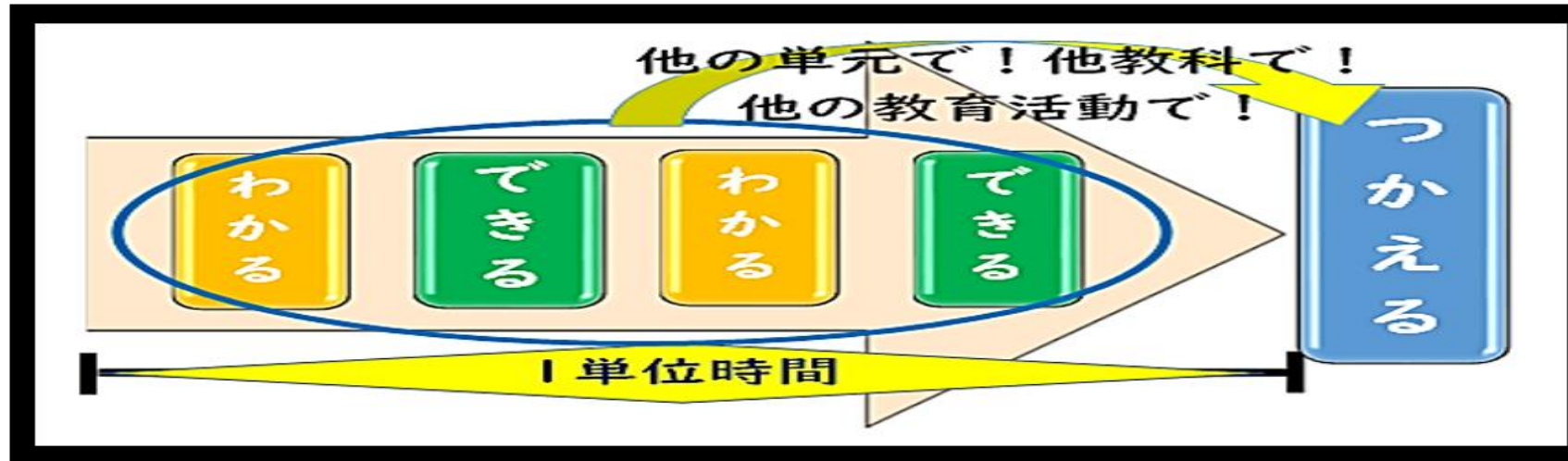
3. ①授業のモデル化(2)



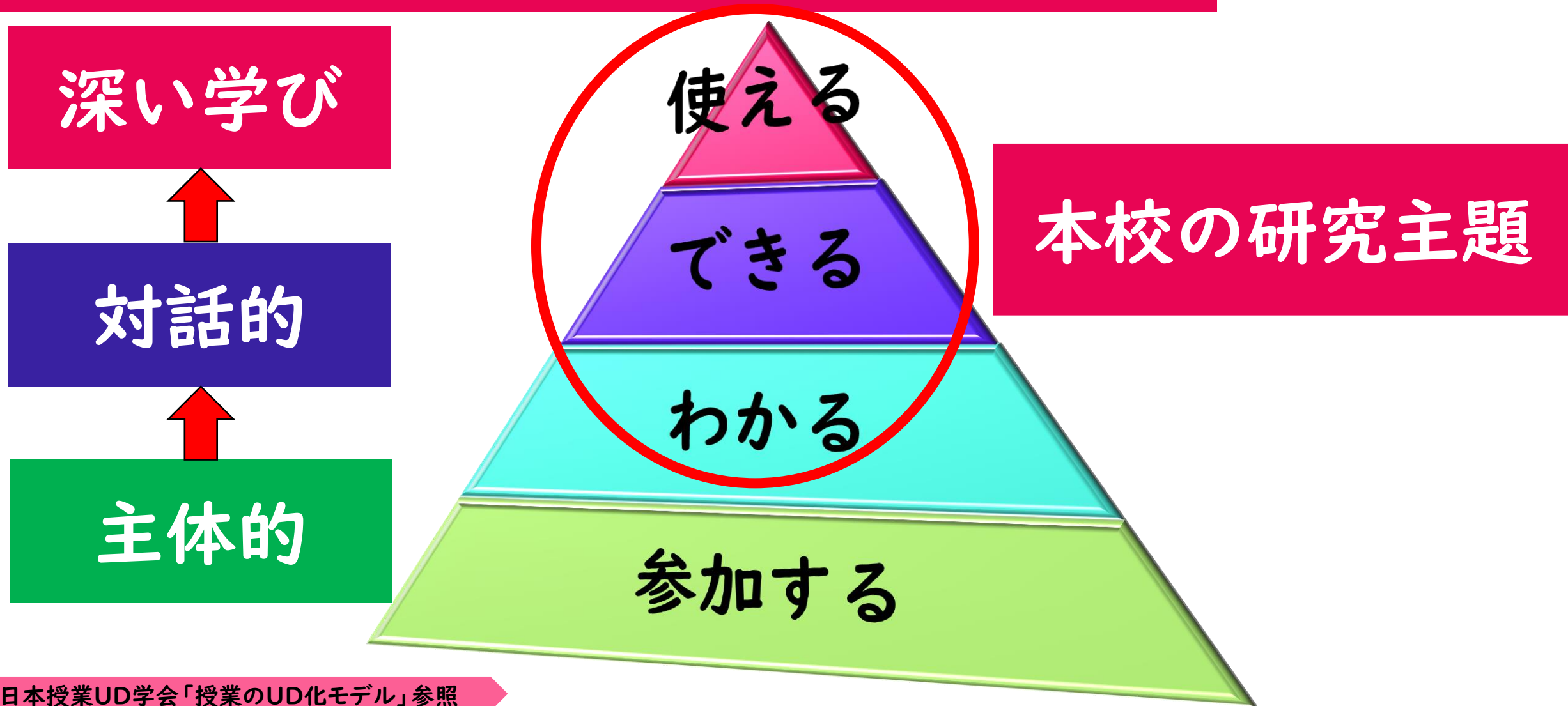
モデルⅢ



モデルⅣ



3. ②授業のUD化モデルより



日本授業UD学会「授業のUD化モデル」参照



3. ②授業のUD化（具体例）



児童のつまづきから支援の手立てを！

時間の構造化

場の構造化

クラス内の理解促進

焦点化

展開の構造化

視覚化

スモールステップ化

動作化

共有化

スパイラル化（反復して）

適用化・機能化

授業の中でバリアを取り除く工夫！



3. ③課題の工夫



深い学びを生む学習課題を！

なぜ〇〇なのかな？

どうして〇〇なのだろうか？

どのようにするとできるかな？

アウトプット型の課題！

既習事項とズレが生じる課題！

意見の対立・拮抗が生じる課題！

乗り越えるハードルがある課題！

本日の授業を例にすると・・・

深い学びを生む学習課題を！

社会的事象の見方



社会的事象の考え方

関連

総合

分類

比較



3. ④各教科の見方・考え方を意識

数学的な見方・考え方を働かせ・・・

図形

見方

数量
関係

データ
の特徴

考え方

根拠をもとに

筋道を立てて

統合的に

発展的に

使える・生かす・活用する



3. ④各教科の見方・考え方を意識

学習指導要領における各教科の「見方・考え方」／「使える」を連想できるワード（活動）						七重小学校 研究部		
教科	見方	考え方	「使える」「活用できる」「発揮する」 学習活動ワード					
			主に低学年		主に中学年		主に高学年	
国語	言葉による見方・考え方を働かせる		紹介する	見たことを書く	説明・報告する	学級で話し合う	意見する	短歌や俳句を作る
	言葉の意味や働き、使い方に着目して捉えたり、問い直す。	話や文章を、意味や働き、使い方などの言葉の様々な側面から総合的に思考判断する。	説明する	思ったことを書く	質問する	事実をもとに書く	提案する	経験をもとに書く
			報告する	伝え合う・演じる	情報を集める	手紙に書く	インタビューする	文章を比較する
社会 (生活)	社会的事象の見方・考え方を働かせる		少人数で話し合う	考えを述べる	互いの考えを伝える	詩や物語をつくる	相手の立場を考える	自分の生き方を考える
	位置の視点 空間的な視点 時期的な視点 時間的な視点	比較する 分類する 総合する 関連付ける	観察を記録する		グループで話し合う	文章の一部を引用する	事象を説明する	複数の資料を参考にする
			身近な生活に関わる見方・考え方を生かす		必要な情報を調べる	必要な情報を調べる	情報を適切に調べる	情報を適切に調べる
算数	数学的な見方・考え方を働かせる		〔1・2年生活科〕 自分との関りがどうであるかという視点		白地図や年表にまとめる	白地図や年表にまとめる	多角的に考える	多角的に考える
	数・量の関係に着目して 図形の関係に着目して データの特徴や傾向に着目して	根拠を基に考える 筋道を立てて考える 統合的に考える 発展的に考える	伝え合う（言葉・絵・動作・劇化）	見学・調査をする	仕事の中の工夫を表現する	人々の願いや努力を考える	自分の考えをまとめる	自分の考えをまとめる
			成長を振り返る	自分にできること考え選択判断	自分にできること考え選択判断	社会生活に生かす	歴史を学ぶ意味を考える	
理科	理科の見方・考え方を働かせる		具体物を操作する	具体物を操作する	具体物・図・数・式を用いて結果を確かめる	結果を確かめる	結果を確かめる	日常を数学的に捉える
	量的・関係的な視点 質的・実体的な視点 多様性と共通性の視点 時間的・空間的な視点	比較する 関係付ける 条件を制御する 多面的に考える	結果を確かめる	結果を確かめる	具体物・図・数・式を用いて表現し合う	日常生活に生かす	日常生活に生かす	解決過程を振り返る
			〔1・2年生活科〕 自分との関りがどうであるかという視点		既習内容や生活経験を基にする	発展的に考察する	発展的に考察する	数学的に伝え合う
			伝え合う（言葉・絵・動作・劇化）	根拠ある予想や仮説を立てる	図や式を用いて数学的に表現する	図や式を用いて数学的に表現する	結果や方法を改善	
			成長を振り返る	関係づけて調べる	数学的に表現する	数学的に表現する	目的に応じて図や式で表現	

「見方・考え方」「使える」一覧表（国社算理のみ抜粋）

先生方との共有！いきわたらせる！年！

4. 本校の研究（授業改善）イメージ

★ 日常の授業
学年・ブロックのチーム
個人で仮説を立てて
動画による実践交流



★ いきわたらせる
（共通理解）
★ 授業計画
授業改善シート
見方・考え方

★ 事後検討会
ワークショップ型
対話重視（ワイガヤ）
ALの要素
授業者も参観者にも＋
本日の実践発表会

★ 研究授業
★ 実践発表



5. おわりに（現時点での今後の見通し）

①評価の在り方（何を根拠にどのように評価するのか）

②見方・考え方を働かせるための思考ツールについて

③ICTを有効に活用した授業改善（タブレット導入）

④本日のご意見を明日からの実践に生かす！





ありがとうございます

